

受 験 番 号					

氏 名	

2016 (平成28) 年度放送大学
大学院修士課程
文化科学研究科 文化科学専攻

臨床心理学プログラム

筆 記 試 験 問 題

試 験 日：2015 (平成27) 年10月4日 (日)

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、HB又はBの黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは「問題冊子1冊」及び「解答用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、問題冊子を確認してください。
問題冊子は、表紙、白紙、問題（1頁）、下書き用紙（5枚）の順に綴じられており、合わせて8枚です。
冊子を綴じているホッチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は「大問題（問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、受験番号、氏名、プログラム名並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを解答用紙別に必ず記入してください。
7. 問題冊子及び解答用紙を持ち帰ってはいけません。
8. 問題冊子は試験終了後に回収します。問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
9. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、問題冊子及び解答用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

臨床心理学プログラム 筆記試験問題

以下の5問すべてについて、それぞれ600字以内で答えなさい（アルファベットは大文字でも小文字でも2字で日本語の1字と換算する）。なお、解答用紙は各問1枚を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること（第3問は①あるいは②と記すこと）

第1問

心理療法において「解釈」という言葉で表現される営みについて、このテーマについての河合隼雄の見解、あるいは、ストロロウ（Stolorow,R.D.）・丸田俊彦・森さち子などの見解に触れつつ論じなさい。

第2問

liaison と consultation を訳し、それぞれの特徴と違いを述べよ。また、このような心理的援助がおこなわれている心理臨床領域を総称して何というかを答えなさい。

第3問

以下の①または②のいずれかの問いを選んで解答しなさい。

- ① 質問紙法形式のパーソナリティ検査の長所と短所について論じなさい。
- ② 投影法形式のパーソナリティ検査の長所と短所について論じなさい。

ただし、いずれを選んだ場合も、長所と短所をそれぞれ3つ以上あげて論じること。（解答用紙には①または②と記すこと）

第4問

プレイセラピーにおける枠、ないし制限設定の例を3つ以上あげ、そうした制限が必要な理由を述べよ。また、実際に制限を加える場面を1つ以上描写し、その際留意すべき点について、考えるところを述べなさい。

第5問

臨床心理学における質的研究について論じなさい。